

第4期熊本県教育振興基本計画 基本的方向性の取組一覧（知事部局・警察本部）**【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上**

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
2 地域の教育力の向上	・「放課後子供教室」の実施と「放課後児童クラブ」との連携	○ 配慮を要する子どもや保護者に対するよりよいコミュニケーション方法を学ぶことにより、関係者の資質向上を目的とした研修会を開催した。	健康福祉部	子ども未来課
	・くまもと子育て応援プロジェクトの開催など、子育て親子の交流の場の提供	○ 例年体験イベント等を開催。今年度は11月23日にハイブリッド形式（YouTubeオンライン配信）で開催し、会場では親子19組54名が参加した。 ○ 子ども未来課、社会教育課が取り組む子育て関連事業の紹介やくまモンによるオープニング、お笑いコンビ「しゃかりき」による親子あるあるネタ、育児相談等を実施した。イベント動画は令和6年12月21日から令和7年1月5日までアーカイブ配信を実施した。	健康福祉部	子ども未来課
	・被虐待児童とその家族への総合的な支援	○ 市町村のこども家庭センター設置に向けた支援を行うとともに、「市町村一児童家庭支援センター児童相談所」の連携による三層構造の児童相談体制を強化、児童虐待の未然防止と早期対応に取り組んだ。	健康福祉部	子ども家庭福祉課
	・子育てを応援する事業所等の登録募集の実施	○ 子育てを応援する企業、店舗等を「子育て応援の店」として募集・登録し、その活動を広報、支援した（令和6年度新規登録数73件）。	健康福祉部	子ども未来課
		○ 子育て従業員を応援する事業所等（子育て従業員応援団）の登録募集を行い、その登録数を前年度より増加させた（令和6年度新規登録数53件）。	商工労働部	労働雇用創生課

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
4 人権教育の充実	熊本県私立中学校高等学校協会に組織されている推進協議会が行う研修事業への支援による私立中学・高等学校における人権同和教育の推進	○ 熊本県私立中学校高等学校協会人権同和教育研修費補助 熊本県私立中学校高等学校協会の中に推進協議会が組織されており、同協会が行う研修事業に対して補助を行った。（43回実施） ○ 私立高等学校人権同和教育主担者補助 私立高等学校に対し、人権同和教育主担者配置に係る費用（人件費・活動費）の一部を補助した。	総務部	私学振興課
5 いじめへの対応	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの学校や教育事務所等への配置による学校支援体制の充実	○ いじめや不登校の課題を抱える私学生徒（世帯）及び学校（教職員）の問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーを活用する学校を支援（支援件数 延べ646件）〔再掲：取組6〕	総務部	私学振興課
	・教育相談体制の更なる充実	○ 熊本県学校・警察相互連絡制度に基づき、警察職員がいじめ等に対する助言を行うなど、学校等関係機関と連携して対応した。 ○ 少年相談電話「肥後つ子テレホン」等において、児童生徒、保護者等からのいじめに関する相談52件に対応した。	警察本部	生活安全企画課
6 不登校への対応	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの学校や教育事務所等への配置による学校支援体制の充実	○ いじめや不登校の課題を抱える私学生徒（世帯）及び学校（教職員）の問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーを活用する学校を支援（支援件数 延べ646件）〔再掲：取組5〕	総務部	私学振興課

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
7 学校の防災・安全対策の推進		○ 熊本県内の学校等において、肥後っ子サポート教室を約500回(非行防止教室約400回、薬物乱用防止教室約83回、保護者教室35回)実施した。	警察本部	生活安全企画課
	・「性に関する指導に係る講演会」や「思春期保健教育講演会」等の実施	○ サイバー防犯ボランティアと連携し、熊本県内の中学校、高校の生徒及び教職員に対するSNSの危険性等に関する講話を3回実施した。	警察本部	サイバー犯罪対策課
		○ 高校生を対象に、生と性の大切さを理解し、若いうちから自分のライフプランに応じた健康管理を意識することを目的とした思春期保健教育講演会を実施した(26校)。また、県女性相談センターで思春期保健相談を実施した(59件)。 ○ 県内全ての高等学校に思春期相談窓口啓発カードを配布した。	健康福祉部	子ども未来課
	・防災教育に関する手引等を活用した授業及び、緊急地震速報やスモークの活用、在校時間だけでなく登下校時に計画、保護者への引き渡しなど、地域と連携し、様々な状況を想定した実践的な避難訓練の推進	○ 学校における防災意識の醸成、防災訓練等の実施 ・学校教諭等がマイタイムラインを活用した防災教育を実施できるよう支援するため、研修会(講義、ワークショップ)を1回開催。 ・また、新中学1年生にマイタイムラインガイドブックを配付し、防災教育の実施を支援した。 ・この他、新聞、ラジオ、SNS等の情報媒体を活用した広報活動や、災害時初動対応訓練(シェイクアウト訓練)の周知等を実施した。 ○ 「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本の開催 ・国内・海外の高校生が集まり、自然災害の脅威と命を守る対策について学ぶ『「世界 津波の日」高校生サミット」を熊本で開催。44か国・地域の高校生524人が参加(国内312人、海外212人)。 ・同サミットでは、スタディーツアーや分科会(防災・減災取組み発表等)、レセプション等を実施。 ・県内の高校生が、海外の高校生とともに、各国の「防災・減災・復興」の取組を学ぶことにより、広く国際的な視野を持った、次世代を担う防災リーダーの育成が図られた。また、県内外の高校生の国際意識の向上と国際交流の促進にもつながった。	知事公室	危機管理防災課
	・「緑の流域治水」の推進及び周知啓発	○ 「緑の流域治水」の理解及び防災意識の向上を目的として、球磨川流域市町村の小中高生を対象に、計13校(約820名)で「緑の流域治水」に関する出前授業を実施。 ○ 「緑の流域治水」や防災意識の向上を図る目的で制作した動画の視聴を、小中高生に依頼。動画視聴後のアンケート結果では、約6割(およそ3,000人)から「分かりやすかった」との回答を得られ、緑の流域治水の取組みについての理解の深まりや、防災意識の向上に繋がった。	企画振興部	球磨川流域復興局
	・登下校防犯プランに基づく登下校時の安全の確保に向けた対策の充実	○ 交通安全アドバイザー、県警こども・見守り訪問隊と連携し、未就学児、小学生、中学生及び高校生を対象とした交通安全教室(計約800回、約65,000人)や通学路における見守り活動等を実施した。 ○ 通学路における可般式速度違反自動取締装置による取締り(31回)及び自転車指導(警告約8,000件)を実施した。 ○ 通学路交通安全プログラムに基づき、自治体、学校等関係機関と合同の通学路点検を行い、信号機(3基)、横断歩道(34箇所)を設置するなど、交通環境を整備した。	警察本部	交通企画課
		○ 学校対象の不審者対応訓練を約200回実施した。 ○ 学校対象の防犯講話を約150回実施した。	警察本部	生活安全企画課

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
9 豊かな心を育む教育の充実	地域の伝統文化に触れ、体験する機会の提供	○ 伝承芸能に取り組む子どもたちの技術力の向上及び活動意欲を高めることを目的として、宇土市にて県内各地の雨乞い太鼓団体(6団体)の子どもの交流会(実演披露や講師による講話・技術指導)を実施した。 ○ 国内外の多くの人から関心を持ってもらうために本県の伝統文化や伝統工芸に関するパンフレットを英語・韓国語・中国語(簡体字、繁体字)で作成・配布し、情報発信を行った。	観光文化部(R6:企画地域振興部)	観光文化政策課(R6:文化企画・世界遺産推進課)

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
11 社会の変化に対応した教育の推進	・熊本の宝である地下水の保全のための子供たちに向けた啓発活動	○ 県内の教育事務所及び山鹿市教育委員会から推薦された小学校の児童を対象に、熊本の宝である地下水の大切さを認識してもらうこと等を目的に、県職員による出前講座(「水の学校」)を実施し、環境保全の意識向上等に関する普及・啓発を行った。(10校、受講者数:326人) ○ また、熊本地域※の幼児を対象に、水に親しみ、水に対する関心を高めること等を目的に、県職員による「水のお話し会」を実施し、節水についての意識を高めるための啓発を行った。(82施設、受講者数:2,058人) ※熊本市(旧旭志村、旧泗水町)、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の11市町村	環境生活部	環境立県推進課
		○ 令和5年度に制作した地下水保全に関する動画・パンフレットによる情報発信に加え、令和6年度には動画の再編集版(1分以内のショート動画)を作成し、YouTube広告として発信した。(令和7年1月～3月)	環境生活部	環境政策課
	・学校における関係機関と連携した消費者教育の実施	○ 消費者被害の未然防止と自立した消費者の育成を行うため、地域の団体、高等学校等へ消費者教育コーディネーターや熊本県金融広報委員会の金融広報アドバイザー、J-FLEC講師、適格消費者団体NPO法人消費者支援ネットくまもとから弁護士、司法書士、消費生活相談員等を派遣し、消費生活出前講座を実施した。(77回実施、受講者3,921名) ○ 学校教育における消費者教育の推進を図るため、消費者教育を担う多様な関係者と学校のつなぎ役として連絡・調整を行う消費者教育コーディネーターを配置し、36校の高等学校等を訪問して消費者教育の実施の働きかけを行うとともに、消費者教育に対するニーズの把握を行った。	環境生活部	消費生活課

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
12 特別支援教育の充実	・特別支援学級担当指導力向上研修、通級指導教室担当者連絡会等、専門性向上のための研修を実施	○ 各校における校内委員会の実施や自主研修の実施といった特別支援教育体制の充実について、経常費補助を行った。(校内委員会実施校:20校)	総務部	私学振興課
	・就労支援ネットワーク会議による教育・福祉・労働等の関係機関と連携した就労支援の強化	○ 障害者就業・生活支援センターを県内6箇所に設置し、障がい者の職業生活における自立を図るために、雇用、保健、福祉、教育等の地域の関係機関と連携し、就業面及び生活面における一体的支援を実施した。 【R6実績】・相談、支援件数:16,548件 ・一般事業所等への就職件数:340件	商工労働部	労働雇用創生課

【基本的方向性5】キャリア教育の充実とグローバル人材の育成

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
16 外国語教育、国際教育の充実	・中高生を対象とした「海外チャレンジ塾」の実施	○ 将来の熊本を支えるグローバルな人材を育成するため、中高生を対象に海外進学に必要な英語能力向上やグローバル人材に求められる能力養成のための講座や海外進学・留学の相談助言などに取り組む「海外チャレンジ塾」を実施。(海外進学コースで25人が受講し、うち3人が海外大学に進学予定。海外進学を目指す人材の育成を図るグローバル人材育成講座は24人が受講)。 ○ 「くまもとグローバルサポーター」として塾卒業生に県のグローバル未来留学フェアへ参加(5人)してもらい、卒業生による後輩育成支援という好循環を推進した。	総務部	私学振興課
	・国際的な教育を提供する私立学校の支援	○ 私立教育機関に対し、国際的な教育環境整備費に係る経費の一部を補助し、外国籍児童・生徒の受入れ環境整備を促進した。	総務部	私学振興課
17 ふるさとを愛する心の醸成	小中学校でオーケストラ、音楽劇、歌舞伎等の本物に触れる巡回公演を実施	○ 県内全域における文化芸術鑑賞機会の促進及び実演芸術の振興を図るため、市町村ホールと連携し、県内各地で音楽や演劇、伝承芸能等の公演を実施した。(市町村ネットワーク事業令和6年度実績:13市町村・総入場者数5,210人) ○ 地理的条件等によって劇場に来ることが困難な子どもたちに対し、市町村と共催して、小中学校や福祉施設などへ演奏家を派遣し、出前事業を実施した。(演奏家アウトリーチ事業令和6年度実績:11市町村62コマ)	観光文化部(R6:企画振興部)	観光文化政策課(R6:文化企画・世界遺産推進課)

【基本的方向性6】 魅力ある学校づくり

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
22 私立学校の特色ある振興	各私立高等学校の特色ある教育活動等の支援	○ 各校における魅力アップのための取組等の特別教育活動等に対し、経常費補助の加算を行った。(21校)	総務部	私学振興課

【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
23 貧困の連鎖を教育で断つ		○ 私立の就学支援金対象校に通う生活保護世帯及び住民は所得割非課税世帯に対して、奨学のための給付金を支給した。(約3,000人、約4億円) ※返還不要の給付金であり、教科書代や入学金など、授業料以外の教育関係費に充てるもの	総務部	私学振興課
	・経済的理由により就学が困難な生徒の授業料等を減免する私立高校に対する補助 ・育英資金の貸付、母子父子寡婦福祉資金貸付、国の「高等学校就学支援金」、「奨学のための給付金」の給付	○ 県内の私立高等学校及び専修学校高等課程に入学する生徒で、生活保護を受給する生徒に対する入学金の負担の軽減を図るため、入学金減免を行う県内の私立高等学校を設置する学校法人及び私立専修学校高等課程を設置する学校設置者に対し、補助金を交付した。(対象校13校(24人)、支給総額1,425,700円)	総務部	私学振興課
		○ 私立の高等学校、専修学校高等課程等に在籍する生徒に対し、就学支援金を支給した。(16,360人、約45億円) ○ 令和2年度から新たに高等学校専攻科に在籍する生徒に対し、就学支援金を支給した。(209人、約5,000万円)	総務部	私学振興課
	・生活保護世帯・生活困窮世帯やひとり親家庭の子供等に対する学習支援	○ 生活保護及び生活困窮世帯の子どもに対して、塾形式による学習支援や家庭訪問による生活習慣・育成環境の改善に関する助言等の支援を行った。(令和6年度の事業参加者:227名 ※熊本市を除く) また、受験期にある生活困窮世帯等の子ども6名に対し、進学の実現できるよう学習支援の強化を行った。 ○ ひとり親世帯等の子ども達に対し、学習の場・安らぎの居場所等を提供する地域の学習教室を県内各地で実施した。併せて、学習教室の開始前に悩み相談ができる子どもカフェや横の繋がりを意識した交流会の実施により、子どもたちの自立ならびに夢の実現を図れるよう支援した。 【R6実績】地域の学習教室数73教室、支援したこどもの人数355人	健康福祉部	社会福祉課 子ども家庭福祉課
	・育英資金の貸付、母子父子寡婦福祉資金貸付、国の「奨学のための給付金」の給付	○ ひとり親世帯等のこどもの就学に必要な修学資金や就学支度資金等の貸付を実施し経済的な自立を支援した。 【R6実績】 ・修学資金貸付件数 75件(高校、専修学校、高専、大学) ・就学支度資金貸付件数 48件	健康福祉部	子ども家庭福祉課

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
28 文化に親しむ環境づくり	県立美術館等における展覧会・巡回展等の充実や体験活動の推進	○ 県立劇場において文化事業を実施した。 ○ 博物館ネットワークセンターにおいて、県内の自然・文化等に関する企画展を開催するとともに、県内各地で移動展示を行った(企画展示5回、移動展示12回)。	観光文化部 (R6:企画振興部)	観光文化政策課(R6:文化企画・世界遺産推進課)

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
29 文化財の保存・活用	・地域の文化財を題材とした出前授業や体験活動、講座等の活用事業の推進	○ 博物館ネットワークセンターにおいて、収蔵資料や地域の文化財を題材とした出前授業や自然観察会、講座を実施した(出前授業・講師派遣14回、自然観察会10回、講座7講座)。 ○ 博物館ネットワークセンターにおいて、収蔵資料データベースをインターネット上で公開している(令和7年3月31日現在資料登録535,766点)。	観光文化部(R6:企画振興部)	観光文化政策課(R6:文化企画・世界遺産推進課)
	・文化財の指定等による保護措置の推進	○ 鞠智城跡の特別史跡指定及び国営公園化の推進 ○ 県内外で鞠智城キャラクター「ころう君」を使ったキャラバン隊による広報活動や「ころう君」によるX(旧Twitter)やYouTube配信を行い、全国的知名度の向上を図った。 ○ 令和6年度は昨年度に引き続き熊本県内や全国各地で活動し、テレビ番組等へも出演した。動画配信サービスyoutubeを活用した広報活動も行い、鞠智城やころう君をテーマにした動画配信を16回実施した。	土木部	都市計画課
31 競技スポーツの振興	大規模スポーツイベント等開催及び誘致への協力・支援	○ 国際スポーツ大会開催の協力・支援に取り組み、スポーツに対する関心を高めた。 ・令和6年10月13日(日)にツール・ド・九州2024の熊本阿蘇ステージを開催。(観戦者数:約40,000人(パブリックビューイング含む)) ・令和6年11月12日(火)～17日(日)の6日間、熊本県立総合体育館でパドミントン国際大会「熊本マスターズジャパン」を開催。(観戦者数:約19,000人)	観光文化部(R6:観光戦略部)	スポーツ交流企画課(R6:観光企画課)
32 学習機会と学習成果活用の充実	県民カレッジ等における生涯学習プログラムの開発、学習機会の提供及び学習成果活用の仕組みづくり	○ 熊本博物館の県市連携展示室において、博物館ネットワークセンターが収蔵する資料の展示を行うとともに、「県民活動紹介コーナー」を設けて、県民の自然に関する活動やその成果を発信した(年2回更新)。 ○ 生涯学習ボランティアのグループであるミュージアムパートナーズクラブが調査・研究・情報発信ができるよう活動支援を行った(8団体 ※令和7年度は9団体)。	観光文化部(R6:企画振興部)	観光文化政策課(R6:文化企画・世界遺産推進課)
		○ 熊本県内の各警察署管内において、各種交通安全教室(計約1,700回、約104,000人)を開催し、参加者の交通安全意識の高揚を図った。	警察本部	交通企画課

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
33 災害からの復旧・復興	・「熊本地震震災ミュージアム」の活用推進	○ 回廊型フィールドミュージアム(中核拠点:県内2か所、地域の拠点:16か所、震災遺構:58か所)において、語り部や解説ガイドにより来訪者に対して平成28年熊本地震の教訓等を発信した。 ○ 令和5年7月にオープンした中核拠点施設「KIOKU」には、令和6年度に約55,000人の見学者が来訪した。(そのうち県内小中高生は約2,000人)	観光文化部(R6:観光戦略部)	観光文化政策課
	・「防災・減災教育旅行プログラム」の活用推進	○ 令和6年度(2024年度)のプログラム受講者数は、6,416人。 ○ 九州観光機構主催の7県合同素材説明会(東京、大阪、名古屋、広島)で、旅行会社及び学校関係者に対しプログラムの紹介を行った。 ○ 熊本県教育旅行受入促進協議会主催のプログラムセールス(首都圏、関西・中部圏、中国地区等)を実施した。	観光文化部(R6:観光戦略部)	観光振興課

【基本的方向性10】子供からの意見聴取・対話

取組	主な施策	令和6年度(2024年度)の取組内容・成果	部局	担当課
34 子供からの意見聴取・対話	「こどもまんなか熊本・実現計画」及びこども施策の策定や、施策の評価等のための意見聴取	○ 「こどもまんなか熊本・実現計画」の策定に当たり、こども・若者、子育て世代等から意見を聴取した。 ○ こども未来創造会議(座談会型)において141人、パブリックコメントにおいて82人から意見を聴取し、安全・安心に過ごせる学校づくりや子育て当事者の支援等について計画への反映を行った。	健康福祉部	子ども未来課